

製品名: PYK2 (4B4) マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM03569

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	腹水

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 116 kDa; Observed MW: 116 kDa

抗原情報

遺伝子名	PTK2B PTK2B; FAK2; PYK2; RAFTK; Protein-tyrosine kinase 2-beta; Calcium-dependent tyrosine kinase; CADTK; Calcium-regulated non-receptor proline-rich tyrosine kinase; Cell adhesion kinase beta; CAK-beta; CAKB; Focal adhesion kinase 2; FADK 2; Pro
別名	
遺伝子 ID	2185
SwissProt ID	Q14289
免疫原	ヒト PYK2 の合成ペプチド

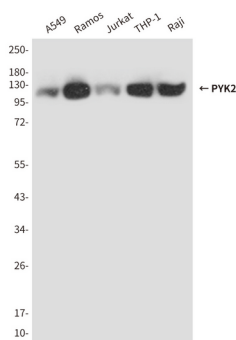
背景

PYK2 は Fak ファミリーに属する非受容体型チロシンキナーゼです。主に造血系由来の細胞および中枢神経系で発現しています。PYK2 は G タンパク質共役受容体のシグナル伝達メディエーターの一つです。カルシウム誘導性イオンチャネルの調節および MAP キナーゼシグナル伝達経路の活性化に関与しています。Grb2 の SH2 ドメインと相互作用します。

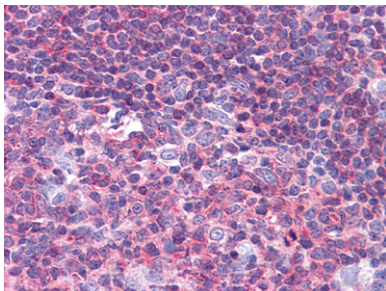
研究分野

シグナル伝達

画像データ



Pyk2 抗体を使用した A549、Ramos、Jurkat、THP-1、Raji 溶解物中の Pyk2 のウェスタンプロット分析。



PYK2 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。